

バイオマス取組事例概要

関東

(社団法人地域資源循環技術センター理事長賞)

- ・ 応募主体 高根沢町土づくりセンター
- ・ 都道府県・市町村 栃木県高根沢町
- ・ 取組分野 堆肥化

取組概要

家畜排泄物、生ゴミ等から堆肥を製造。生ゴミ収集へのバイオマスプラスチック製ごみ袋採用。

町内で発生する家畜排泄物、家庭生ゴミ、籾殻を有効に活用し、堆肥として農地に還元することにより、循環型社会を推進するために、平成12年に高根沢町堆肥センターを建設している。

酪農農家25戸が堆肥センターに搬入した家畜排泄物(3,657t/年)、家庭生ゴミ(820t/年)、もみガラ(802t/年)から堆肥を製造(1,819t/年)し、農協を通じて農家に販売している。

家庭生ゴミの分別回収に当たっては、町の呼び掛けにより各家庭が積極的に分別収集や生ゴミの減量化に取り組んでいる。また、バイオマスプラスチック製品を導入し、約7割の世帯(7,000世帯)から発生する生ごみを回収している。

また、町内の小学校の校外学習として、「土づくりセンター」の見学を実施しており、実践教育の場としても活用されている。

土づくりセンター全景



施設フローチャート

